



かつやま

5 No.654 月号



「はしれ はしれ！」

5月3日に芳野・沢地区で「こども走りやんこ」が行われました。トップバッターは新1年生。スタートの合図とともに猛ダッシュ！このあと上級生へと次々にまといを渡してリレー。みんなとても元気いっぱいでした。

CONTENTS

第5次総合計画
平成21年度区長紹介
地デジ相談
HOT話題

(芳野町) 平成21年5月14日発行

歴史の散歩道

(101)

深沙大将像と豊原寺

滋賀県の米原市柏原はかつての宿場町で、今もその面影を残し多くの観光客が訪れる、若狭の熊川宿のような宿場町である。この西方の山麓に成菩提院という古刹がある。天台宗の寺院で、弘仁六年（八一五）最澄が談義所を開設したことが始まりである。米原市が開設する観光案内のホームページには「嘉暦元年（一二二八）、越前白山平泉寺の衆徒が乱入して全焼しました」とある。江戸時代の『輿地志略』という近江国の地誌には、「嘉暦元内寅の年、越前国平泉寺の衆徒等堂塔を破壊す」（原文は漢文）と書かれている。このことは昨年の広報かつやま十月号に書いたとおりである。

さて、筆者は成菩提院が所蔵する「深沙大将像」が、もともと成菩提院の所蔵であったという説、平泉寺衆徒が成菩提院の堂塔を全焼あるいは破壊したという記事は誤りであると考えられる。この絵像が本来は豊原寺にあったと推定する。また裏書があり、「実相房」と号する「大阿闍梨法印権大僧都賢□」（□は「威」のように読める）は、深沙王の功徳として、嘉暦元年（一二二八）に平泉寺の軍勢が五度にわたり攻めてきたが、深沙王の加護により撃退できたという主旨のことを書いている。



豊原寺の往時の繁栄をしのばせる白山神社の旧拜殿



豊原寺の關伽井とよばれる湧水池

これを「豊原寺縁起」（坂井市豊原春雄氏所蔵）の、「深沙大王御鎮座事」の項では、平泉寺と豊原寺との相論が、嘉暦元年や至徳二年（一二三五）にあったとし、豊原寺が相論で平泉寺に勝利できたのは深沙大神の功徳であるとしている。この時代は、平泉寺は天台宗の延暦寺の末寺であり、豊原寺は真言宗の東寺の末寺であって、越前の二大寺社勢力であった。宗教的立場からの相論だけでなく、庄園の経営と関わり、経済的立場でも争った。このように両者は何事でも対立し、平泉寺は数を頼んで豊原寺に押しかけて相論し、数を頼みに暴力を振つこともあったのである。

文化財保護委員 佐野光臣

人口の動き

	3月末現在	自然動態		社会動態		4月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,783人	9	12	37	53	12,764人	-19人
女	13,995人	5	17	35	52	13,966人	-29人
合計	26,778人	14	29	72	105	26,730人	-48人
世帯数	8,356世帯					8,338世帯	-18世帯

▼桜が散ってしまつて、山々はすぐに新緑で染まります。4月は遅羽町のパンヒライン、野向町の高尾山と写真撮影を兼ねて登ってきました。山から見る勝山は、本当に自然豊かな土地だと認識を新たにしました。この豊かな自然環境は、これからの子どもたちのために残り、以降も受け継がれていかなければなりません。いまやエコ抜きで行政は語れない時代になっています。

勝山市もこれから工環境都市を目指し、いろいろな取り組みを行っています。

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	平成21年4月末	前年比
総件数	31件	-6
人身事故 (うち高齢者)	5件 (3)	-1 (+3)
死者 (うち高齢者)	1人 (0)	+10 (+3)
傷者	11人	+2
物損事故	26件	+5

5月の納税

軽自動車税税▶1期
納期間▶6月1日(月)
口座振替▶5月26日(火)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで

